

カタタ人の 発明発見(Ⅷ)

●寝台車

世界最初のちゃんとした鉄道寝台車を
考案・製作したのは、グレート・ウエス
タン鉄道会社の技師サミュエル・シャ
ー。一八五七年のことである。

シャープが作った寝台車には、バネと
マットのついた寝台がとりつけられ、そ
れに毛布と枕が用意され、カーテンまで
つけてあった。その頃の寝台車の追加料
金は、一晚につき五十セント。

●コンバイン

およそ五十年前まで、大平原地方の農
家では、麦の収穫期になると、すべての
働き手が畑にでて麦を刈り、束ね、刈り
束を積み重ね、脱穀し、隣り近所の人た
ちや日雇い人夫の助けを借りて混ぜり物
を取り除いていた。子供もかり出され、
主婦は主婦で朝の暗いうちから夜中まで、
家畜の世話、食事、あと片付け、洗濯、
と働きつづめ。

今ではこういう光景はもう人見られ
ない。一九三八年にトマス・キヤロル
がトロントで自走式コンバイン(収穫機)
を発明したおかげである。

この農機だと、刈り取り、脱穀、選別、

運搬の全工程をすべてやってしまう。し
かもたった一人で、二、三百人分の仕事
をやっている。農家を重労働から解放
した、まさに画期的な発明であった。

キヤロルによるコンバインの発明で、

カナダにおける農業の機械化は急速に進
み、また自走式コンバインは「収穫に奇跡
をもたらした」として、世界各国で重宝
されるようになった。

●電子顕微鏡

電子顕微鏡で直径わずか一ミリの砂粒
を三万倍に拡大すると、十階建てのビル
の大きさに見える。人間の髪の毛を一万
倍大きくすると、てっかい丸太になる。

この電子顕微鏡を発明したのは、オン
タリオ州アランプトンのジェームズ・ヒ
リアー博士とアルバート州エドモントン
のアルバート・アレイクス氏(写真)。電子
顕微鏡は、光線の代わりに電子線を使っ
たもので、光学顕微鏡だと千五百倍どま
りだった倍率を数万倍に引き上げた。そ



のため、光学顕微鏡では見られなかつた
微小な部分の像が鮮明に見られるように
なり、生物学や医学の発展に大きく貢献
している。

○読者の皆様にアンケートをお願いし
ましたところ、沢山の方からご回答を
いただきました。お忙しい中、どうも
ありがとうございます。皆様の貴重
なご感想・ご意見は、できるだけ今後
の広報活動にいかしていききたいと思
います。

○当広報紙については、「今のままで
いい」とお考えの方が多く、広報部で
は心から喜んでおります。しかし、一
方、「内容が堅すぎる」「もう少しカ
ナダらしい、親しみのもてるペーじを
増やしたらどうか」といったご意見や、
「トピックス欄の充実を望む」「写真
をもっと使ったほうがいい」「発行回
数をふやして欲しい」などのご要望も
いただきました。

○今後の紙面に関して特にご希望が多
かったのは、カナダの一般国民の生活
について知りたいということでした。
そのほか、政治、経済、産業、観光、
文化・芸術、金融、貿易、投資、日加
関係、歴史、移民、日系カナダ人、対
米関係……と、ご希望は多岐にわたっ
ております。「英語のペーじが欲しい」
「輸出入貿易管理制度の変更の速報を
載せてもらいたい」など、ごく少数の
方々の細かいご要望にお応えするのは
むずかしいと思いますが、一般的なお

本紙中の意見や見解は、必ずしも
カナダ政府またはカナダ大使館の考
え方を反映するものではありません。
また公式文書の翻訳は仮訳です。転
載の際は、できるだけ出典を明らか
にして下さい。ご意見やご希望は左
記の住所にご連絡下さい。
〒100東京都港区赤坂七丁目三三六
カナダ大使館広報部

編集後記 アンケートについて

コラムを掲載できませんでした。(吉田)
○今回はこうでスミス、橋田画氏の
記事を住所にご連絡下さい。

○今後、皆様からのご意見やご感想を
載せたいと思います。カナダや本紙に
ついて、ご投稿をお寄せ下さい。
○今回はこうでスミス、橋田画氏の
コラムを掲載できませんでした。(吉田)